

塩田庁舎等活用基本計画に見る「地域交流拠点」整備の概要

塩田庁舎の主な改修

3階 塩田公民館の避難所機能を含む公民館機能を移設します。

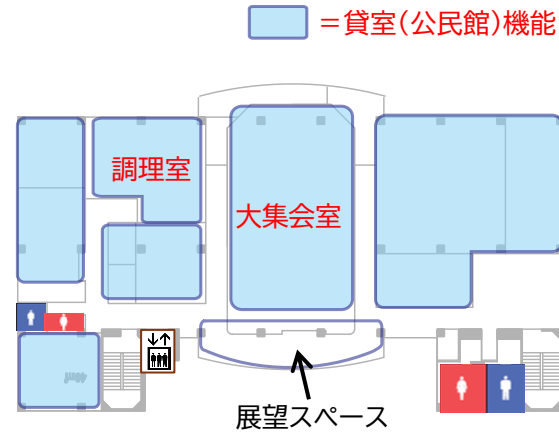
- 公民館の貸室の間取りは、現区分での活用を想定しています。
- 議場の床をフラット化し、100名程度を収容できる大集会室とします。
- 4階倉庫に備蓄機能を持たせ、塩田公民館の避難所機能を継承します。
- 避難所機能も含めた公民館機能として調理室を新設します。
- アーチのある窓際ホールを、展望スペースとして整備します。



大集会室



調理室



2階 本館は、子育て支援機能とし、「賑わい創出事業」として、民間提案による施設づくりを実施します。

- 本館の2階フロア全体を使い、市内外から「この施設の利用を目的に人が集まってくるような、付加価値の高いサービスの実現」を目指します。
- 子ども向けの図書や遊び・交流の場以外にも、母親対応の機能や相談・一時預かりなど、民間の創意工夫を最大限活かしたいと考えています。
- 2階別棟は、教育支援機能として機能を固定し、多様な教育環境の整備を図ります。



←先行事例(北海道南幌町室内遊戯施設「はれっぱ」)

1階 各種窓口を集約し「相談拠点」としての機能を強化します。

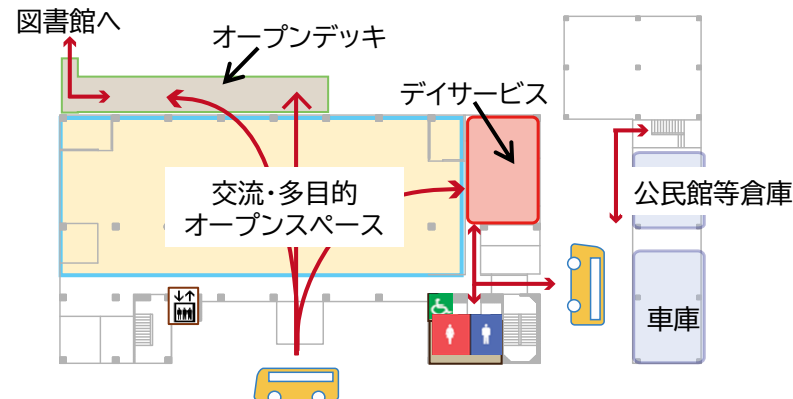
- 一階フロアは、「交流・多目的スペース」をメインのオープンスペースとしてレイアウトし、日常的に誰もが自由に活用できる空間にします。
- オープンスペース内に、庁舎の窓口機能の他、各種相談窓口や関係団体の事務スペースを確保します。
- また、市民活動の展示や、情報配信(文化財展示)などができるスペースを確保します。
- 西側通用門近くに生きがいデイサービス事業のスペースを確保します。



窓口・待合スペース



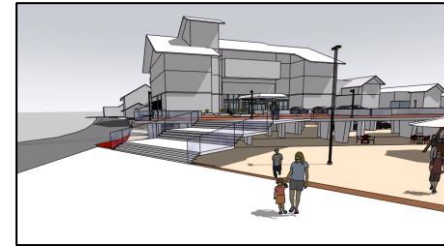
交流スペース・展示スペース



事業エリア内の主な改修と塩田津との連携

賑わい創出事業やイベントが行われる魅力的な地域交流拠点として、長崎街道や施設を通る人の流れを創出し、塩田津と相互に行き来するような相乗的な連携強化を図ります。

塩田津交差点付近から地域交流拠点を臨む→



公民館・老人福祉センターの跡地は多目的広場として活用

重要伝統的建造物群保存地区「塩田津」

塩田津と市域交流拠点を結ぶ人の流れを創出

保健センターは「老人福祉・保健・健(検)診機能」を集約



1F駐車場はイベント会場としても活用



庁舎から図書館へつながる通路をオープンデッキとして拡張

2階別棟を教育支援として機能を固定し、充実を図る

地域交流拠点施設での手続きイメージ

新庁舎の実証実験による検証も踏まえ、以前より便利になったと思えるような窓口等のサービスの実現を目指しています。

